

## 市南西地域への新たな公共交通（乗合タクシー（仮称））の 導入に対する意見とその対応について

### 1 市議会全員協議会の概要

- (1) 期日  
平成24年9月12日（水）
- (2) 場所  
武蔵村山市議会議場

### 2 主な意見及び意見への対応方針

- (1) 運行時間が17時までとなっているが、もう少し遅くまで運行してもらいたい。

⇒ 乗降場所として設定している公共施設の窓口利用時間については、全て17時15分までとなっており、村山医療センターや武蔵村山病院においても、診察は午前中が中心となっていることから、運行時間を17時までとした。

運行時間については、今後の利用状況や実証実験運行の検証結果を見ながら地域公共交通会議の中で運行時間の見直し等を含む運行システム全体の見直しを検討する予定である。

(2) デマンド型はドアツードアが大きな魅力であるため、ドアツードアに近い形で運行してもらいたい。また、南西地域外の乗降場所としては、商業施設を入れてほしい。

⇒ タクシー事業者との契約によるタクシーメーター精算方式の運行方法では、利用者を集約し、1回の運行でなるべく多くの利用者を運ぶことにより、乗合率を高めることが重要であったため、南西地域内に乗降場所を設定していた。

その後、市内タクシー事業者との調整の結果、この方式での運行が困難であることが判明したため、運行時間借上方式による運行事業者への業務委託とすることとした。この方式では、まず新たな公共交通として市民に認知していただき、多くの利用者を確保することが重要であるとの考えから、市民にとってより利便性の高い自宅前を乗降場所とすることを検討する。

なお、今後は地域へのPRを積極的に行っていくが、乗合タクシー（仮称）が地域に浸透し利用者が増えた場合には、乗合率を高めるため利用者を集約して運行するなど、より効率的な運行方法を検討していく。

また、南西地域外の乗降場所については、移動ニーズの高い主要な公共公益施設等を設定している。乗合タクシー（仮称）を導入する目的は、公共公益施設等へのアクセスを確保することであり、他の目的のための移動は、他の公共交通等を利用していただきたい。

(3) 乗合タクシー（仮称）は、イオンモールへ行けるため、イオンモールから協賛金など何らかの支援をいただくべきではないか。

⇒ 乗合タクシー（仮称）は、イオンモールへのアクセスではなく、乗換ポイントとして交通プラザにアクセスすることとしている。しかしながら、イオンモールの近くまで行けることから、今後事業の概要を説明し、何らかの支援をいただけないか打診してみたい。

(4) 市内循環バスにおいては、シルバーパスをお持ちの方は無料で乗車できるが、乗合タクシー（仮称）においても同様の配慮はできないか。

⇒ シルバーパスについては、東京バス協会がシルバーパスを利用した場合の運賃を補償しているが、乗合タクシー（仮称）事業では運賃補償が受けられないため、導入は難しいと考えている。

しかしながら、市内循環バスの利用者との均衡を考慮し、何らかの措置を講じることが妥当か否か検討してみたい。

(5) 早い時期に乗合タクシー（仮称）が運行される地域の市民へ説明する機会を設けるべきである。

⇒ 10月12日、13日及び16日に市南西地域内で説明会を開催する予定である。